



一里塚 無所属 田村栄子

久喜市議会議員

討議資料
2020年令和2年4月

第44号

久喜市議会
会派フェニックス

連絡所 349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124

<https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/> <http://tamura-ek2.matrix.jp/>

田村栄子

久喜市議会議員
総務財政市民常任委員
予算決算常任委員
議会広報委員 情報コミュニケーション(ICT)委員
静桜里親の会会長
久喜市放課後子ども教室
栗橋南小みなみっ子ゆう
ゆうプラザ実施委員

新型コロナウイルス感染が広まり爆発的に拡大するかも知れない状況に来ており、刻々事態も変わってきています。感染拡大抑止のため、大人も子どもも感染につながる行動を抑えるなど諸対策を実行し、この未知のウイルスを乗り越え本来の生活ができるように、少しの辛抱、頑張りましょう。

新型コロナウイルス感染拡大対策 久喜市の対応

久喜市は2月21日に久喜市長を本部長とする「久喜市新型コロナウイルス対策本部」を設置しました。新型コロナウイルス対策に関する埼玉県の緊急事態宣言を受け久喜市も各対策を施行開始。

不要不急の外出の自粛よびかけを実施

相談窓口を設置 (本紙下段右参照)

久喜市の主な動き

月 日	内 容
2月21日	「新型コロナウイルス対策本部」を設置。 公共施設に消毒用アルコール設置。 市民と対面して業務を行う職員は原則マスク着用の指示。
2月26日	職員の健康観察と各部署の時差出勤の推進。 市主催事業の中止または延期。 受診の目安と相談窓口の周知徹底。 国の新型コロナウイルスの感染症対策の基本方針確認。
2月28日	市内小中学校の臨時休校と学童保育対応。
3月2日	市内公共施設の休館方針決定。
3月8日	埼玉県内の感染状況の確認と市内で発生した場合の対応を協議。
3月10日	医療機関や重症化する高齢者及び障がい者の入所施設、児童を預かる施設等の職員を対象にサージカルマスクを配布の決定。
3月27日	久喜市民に感染事例が発生した場合の対応を協議。 教育委員会より市内小中学校児童生徒への対応を報告。 市民部より傷病手当金の支給等について情報提供。 マスクの追加配布(妊婦および歯科医師会へ)決定。 県からの不要不急の外出自粛要請を踏まえ市の対応を協議。 市主催イベント等の中止・公共施設の休館を4/15までに延長。
4月3日	市内小中学校は4/12まで臨時休業(今後変更もあり)。
4月7日	集団狂犬病予防接種の中止、各動物病院で接種を。
4月8日	緊急事態宣言を受け不要不急の外出自粛よびかけ。 市内公共施設の休館延長 5/6まで。市主催イベント等の中止。 市内小中学校の臨時休業決定5月6日まで。

4月7日 議会便り広報委員会

令和2年度の久喜市予算が決まりました。

一般会計合計541億8,200万円

令和2年度 新規事業 の主なものは次のとおりです： 令和2年度 完了・廃止事業の主なものは次のとおりです：

事業名	金額
運転免許返納推進事業*	348万2000円
くきふれあいタクシー(補助タク)**	475万4000円
旧栗橋第一幼稚園園舎等解体事業	226万6千円
くりの木作業室等整備事業	427万7千円

*) 運転免許証自主返納時、市内公共交通機関で利用できる6000円分の回数券の交付(一回限り)。

**) 補助タクは75歳以上の方・障がい者等の移動手段を確保するためのタクシー料金の補助経費です。

事業名	金額
防災行政無線デジタル化更新事業	4億968万円
ポートピア栗橋環境整備協力費活用事業*	5000万円
鷲宮総合支所空調設備改修事業	2808万円
アニメの聖地推進事業	400万円
合併10周年記念プレミアム付商品券	

発行事業 1億4500万円

*) 令和元年度まで済生会栗橋病院からの申請により医療機器用に継続支出していました。

久喜市の令和2年2月定例議会が2月10日～3月17日に行われました。市の諸課題解決のため全力で頑張ります。

暮らしと政治を結びます！



ご意見を賜ります。皆様からの貴重な叱責・ご意見を頂き誠にありがとうございます。

防災関連 久喜市の動き

昨年来た台風19号は今後の防災に多くの課題を残しました。久喜市はこの検証を行い、市の各対応の課題を抽出し今後の対策を立てました。高等学校を含む避難所開設の対応、情報発信、物資調達備蓄、災害時の職員の分担その他の改善を検討課題としています。新型コロナウイルス対策で大変な時間が奪われていますが私達住民は、これから自然災害の季節に向かう折り、防災の方も対策計画の実施を望むものです。

裏面に防災に関する議会一般質問を載せております。

東日本大震災 液状化被害復興のシンボル

静桜が今年も咲きました



中学生達が接ぎ木し移植した 静桜2020年4月
静桜です

最近印象に残った言葉があります：
「桜は来年また戻るが人の命は戻らない！ だから今が辛抱」

(IPS細胞研 山中教授)

県内久喜市周辺の新型コロナウイルス相談窓口
幸手保健所(帰国者・接触者相談センター)

TEL 0480-42-1101

埼玉県新型コロナウイルス感染症

県民サポートセンター(24時間)

TEL 0570-783-770 FAX 048-830-4808

厚生労働省 TEL0120-565-653 FAX 03-3595-2756

経済産業省 TEL 03-3501-1544

田村栄子の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元気につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



令和2年2月議会(2/25)は2月10日～3月17日に行われました。田村栄子の議会一般質問(2/25)の内容と市の回答の概要です。

新型コロナウイルス感染症拡大の対策を(2/25 質問)

(問) 日本政府は国外から来る新型コロナウイルス感染症拡大防止水際対策を本年1月に打出した。しかし無症状の感染者の検疫漏れ入国等が感染拡大の要因にもなっている。久喜市は無発症の感染者もあることを想定し、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に努めるべきだ。対策を伺う。

(答) 感染症への対策の行動指針としてH26年策定の新型インフルエンザ等対策行動計画に準じた対応を行う。市HPへの情報提供とともに2/21に久喜市新型コロナウイルス対策本部を設置した。3/31までの市主催事業を中止または延期。本感染症の流行状況を踏まえ国の方針に基づき全力で取り組む。

(問) 市内医療機関では患者によって出入口、受付窓口、診察室を分ける必要があるのではないかと。医師は空気清浄機を使用し空気の流れを分けているまた医師会に相談している。

新型コロナウイルス感染症報道で使われている横文字を右に挙げました。本来の意味から離れてカタカナ英語になっている場合もあることをお断りしておきます。しかしもっと日本語を大事にしたいものです。

用語	意味	
フェース、フェイス	(変化の)段階、局面	phase
クラスター	人(感染者)の集団、房	cluster
ロックダウン	都市封鎖 封鎖	lockdown
オーバーシュート	感染爆発 通り越す	overshoot
サイレントキャリア	無症状陽性患者	silent carrier
エビデンス	証拠 根拠	evidence
パンデミック	世界的大流行(病気等)	pandemic
サイトカインストーム	免疫暴走	cytokine storm

水害時における周到的な対策を「自分の命を自分で守る」ために

昨年の台風19号から私達住民は水害時にはほぼ全域が水没するという恐怖を実感した。自分の命を自分で守るために、早めの避難が必要である。

(問) 避難所収容人数が少ないこと、および早めの広域避難を周知徹底すべき。東京都の江戸川・江東区などは徹底的に区外への早期広域避難を呼びかけている。いかがか。

(答) 住民に周知するよう努める。広域避難のために情報提供や啓発を行っていく。

(問) 前回議会で、避難所は来た人から順次受け入れる。災害弱者など要配慮者を優先したい、と回答があったが、希望者が全員入れない場合、どう対応するか。

(答) 車など移動手段を持つ人は、各自で避難先を確保し早めにより安全な遠方避難を呼びかけていく。

(問) 避難するときに移動手段を持たない人のためにどのような方法を考えているか。

(答) 移動手段は徒歩、自転車、バス、電車など普段の方法を基本として早めの行動を考えていただきたい。栗橋地区についてはバスによる広域避難の実施を考えている。今後検討。

(問) 広域避難時に標高の高いところや避難の方向を示したマップや避難ガイドラインが必要。他市では作成している。

(答) 河川の浸水被害ならびに内水被害等も考慮する必要がある。市のホームページにおいて国土地理院・国交省などから浸水想定区域図などを紹介していく。「避難決断ハザードマップ」を作成予定でその中でより分かり易く避難方向を示したい。

(問) 避難所や災害情報に関し他自治体との情報共有態勢が必要。

(答) 情報共有は大切である。災害オペレーションシステムで共有されている。(意見)共有するだけでなく隣接自治体との情報交換災害対策協力体制が必要。

(問) 災害情報は早めに。命を守るための早めの広域避難には住民が避難判断をして安全な避難開始のため、先を読んだ早めの防災情報発信が市に求められる。久喜市は4地区で接する河川が異なるため、地区の特性に応じた情報が必要。栗橋地区は深刻な被害が発生するので重要。前回は避難情報が遅かった。

(答) 国交省の河川の水位上昇などを鑑みて各地区に対して適切なタイミングで避難情報を発令する。早めの広域避難は気象情報・マスコミ情報などから市からの情報の前に各自で判断を。

(問) 水害時自分の命を自分で守るための早期避難が円滑に行えるよう避難時期や方法を自分で決めるマイ・タイムラインの立案・作成の訓練を市の指導で行うべき。

(答) 個人の自主的な行動計画として各自で作るものだが、自主防災組織で作成することが有効と考え今後、参考となる資料を紹介すると共に市からの出張出前講座などでも対応していく。

(問) ライフジャケットを市民の災害用備蓄品として推奨が必要。避難するときどのような場面に遭遇するか予想できないので。

(答) ライフジャケットが必要となる前の避難を推奨するので必要とは思えない。(意見)市のこの回答は誤っている。ライフジャケットが必要かどうかを災害時に正しく判断できるものではなく想定外のケースが予想されるから必要である。

済生会栗橋病院の移転問題

(問) 済生会栗橋病院の移転後の跡地の計画について、その後の病院との意見交換結果を伺う。跡地は新たな診療所の開設を検討するとのことだが。市からの積極的な働きかけを望む。

(答) 本年1/28に副市長、健康・子ども未来部長が栗橋病院を訪問し栗橋病院の総括責任者、事務部長と跡地の活用を含め今後の方向性を協議。病床が久喜市には残らない現状での今後の医療については引き続き検討中とのことである。

暮らしと政治を結びます!

公園に健康遊具の設置を

(問) 健幸・スポーツ都市宣言を行った久喜市において市民の健康のため、高齢者の基礎体力向上のため公園に大人の健康遊具の設置をお願いしたい。高齢者と子供と一緒にスポーツできるようにすべきと考える。いかがか。

(答) 市民への健康増進のためこれまで園内周回路のある20カ所に78基を設置した。今後そのほかの(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園や栗橋西土地区画整理事業地内公園、南栗橋近隣公園などの既存の公園に健康遊具を設置していく予定。